

SCOUTING

スカウティング

Scout Association of Japan www.scout.or.jp

平成18年4月1日発行 毎月1回1日発行 第635号 昭和33年12月15日 第3種郵便物認可

NO.635 2006/4



■ 14NJ 歓迎します カモン! 珠洲

■ 国際スカウトフォーラム

■ 新連載 隊活動のヒント・全国BSゆかりの地探訪



財団法人

ボーイスカウト日本連盟



この夏、全国からの

地元珠洲市のいろんな人たちからの
ウェルカムメッセージ

カモ
珠
COME



金沢城公園の美しい石川門前にて、「カモン！珠洲」の西村実行委員長。この石川門は、5月石川で開催される18年度全国大会のマークのデザインにもなっています。

カモン！珠洲 ～その1～ 大会の実行委員長より

西村 稔 14NJ実行委員会委員長
日本連盟イベント委員会委員長
石川県連盟理事長

全国の指導者の皆さん、いよいよジャンボリー開催まであと120日あまりとなりました。参加隊の準備訓練など様々なご準備でお忙しいことと存じます。

大会の実行委員会、各専門部会、地元石川県連盟等での各種準備はもちろんですが、このボーイスカウト4年に1度の祭典を受け入れてくださる地元珠洲市の方々も、様々な形でジャンボリー支援のためのご準備を進めてくださっています。

私は今大会の特色として「スローライフ」「環境」「交流」の3つを掲げ、皆さんにアピールしてきました。その1つ「交流」は、全国、そして諸外国から来るスカウトたちとの交流であり、またこの大会を迎えてくださる地元珠洲の方々との交流でもあります。

日本ジャンボリーとしては初めての、地域住民の方々の生活の場と隣接した会場となる珠洲。様々な体験プログラム、アクティビティーの他にも、いろいろな形で地域の方々と接することとなるジャンボリーです。ぜひと

も皆さんに地元珠洲の自然や人々のすばらしさを感じていただくとともに、地域の方々にはこのボーイスカウト運動のすばらしさを感じていただければと思います。

合言葉は「カモン！珠洲」。

2万人を超えるボーイスカウトが集まるこの夏への期待に胸を大きく膨らませていらっしゃる地域の方々からのウェルカムメッセージをご紹介します！



金沢にある石川県連盟事務局にて、「カモン！珠洲」の野田事務局長。今大会では配給専門部会副専門部会長としても活躍。「珠洲の食事はいいものにしますよ。期待してください！」

カモン！珠洲 ～その2～ 珠洲市商工会の会長より

藤野 裕之さん 珠洲市商工会会長

日本醗酵化成株式会社代表取締役社長

全国のボーイスカウト指導者の皆さんこんにちは。第14回日本ジャンボリーがこの夏、この珠洲で開催されるということですが、2万人もの子どもたちが集まると聞きます。正直なところ一体どんなことになるやら想像もつかないという感じです。

ここ奥能登、珠洲は海あり山ありの自然豊かな場所で、海の幸、山の幸とともにとってもおいしいものが豊富ですから、ぜひとも新鮮な食材を堪能していただきたいと思っ



藤野さんの会社では、「能登ちゃんがりぶし」「富士乃華」など奥能登の本格焼酎を作っています。ホーロータンクで長期熟成した完全無添加の自然な甘みが特徴とのこと。大会でのアルコールはご法度ですが、指導者の皆さんのお土産にぜひどうぞ。

スカウトを歓迎します

ています。とはいってもキャンプ生活では難しいかもしれませんが……（笑）。

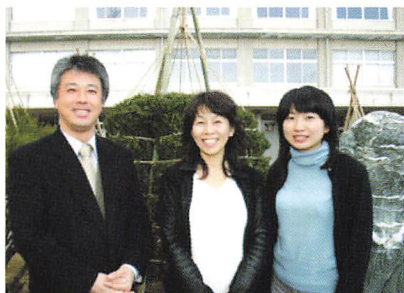
商工会ではジャンボリー会場内にも新鮮な海産物をはじめいろんな特産物をお土産に持って帰っていただけるよう販売の準備もしていますから、どうぞお楽しみに。

また、ボーイスカウトの子どもたちはジャンボリー会場だけでなく珠洲のいろんな場所で様々な活動をすると思いますので、この恵まれた能登の自然を大いに楽しんでほしいですね。そして地域の人たちは皆さん気さくで親切な方々ですから、気軽に声をかけていただきたいと思います。

カモン! 珠洲 ～その3～ 地元、県立珠洲実業高等学校吹奏楽部の皆さんより

吹奏楽部顧問 村田良和先生、富田英子先生、谷山茉莉子先生

本校の吹奏楽部は3年前の日本アグーナリー、昨年の環日本海大会でもボーイスカウトの皆さんの前でマーチング演奏をさせていただきました。そのときも生徒たちは大変エキサイティングな経験をさせていただいたのですが、今回は2万人以上の皆さんが集まるということで、そんな大勢の方々の前で演奏する機会も滅多にありませんから、今から大いに緊張しつつ、とても楽しみに演奏の練習を重ねています。



お話を伺った村田・富田・谷山先生（左から）、生徒さんたちは試験期間で残念ながら直接お話を伺えませんでした。皆さん揃った写真をお借りしてきました。



4年に1度のボーイスカウト最大のお祭りとお伺いしますので、皆さんの大会に地元の若者たちから華を添えられるよう、一生懸命がんばりたいと思います。声援、よろしく願います。

カモン! 珠洲 ～その4～ 会場まっただ中に入浴施設、すずの湯の皆さんより

森 茂秋さん 能登半島鉢ヶ崎温泉すずの湯支配人

日頃は年中無休で地域の方々にゆったりと入浴いただいている当温泉ですが、ジャンボリー期間、2万人を超える方々がお集まりということで、地元の方々には「その期間はちょっと無理でしょうね」と今からご案内しています（笑）。とはいっても市を挙げての行事ですから、もちろん地域の人たちにもご理解いただいていますよ。

アグーナリーや環日本海大会のときも大変多くのボーイスカウトの皆さんに入浴いただきましたが、10倍もの規模の大会となりますと、一体どんなことになるやら想像もつきません。

会場の真ん中のような場所で、露天風呂もありますから、どうぞ時間を見つけてゆっくり汗を流していただく

さい。



露天風呂を見せていただいた森支配人と笑顔で迎えてくださったフロントのお二人。アグーナリーや環日本海大会では脱衣場の砂がタイヘンだったとか。入場前によく脚や衣類の砂を落としていくよう、スカウトのご指導よろしくお願いします。



カモン! 珠洲 ～その5～ 地元の漁師さんより

角口 準一さん すずし漁業協同組合統括参事

ここ蛸島漁港は子どもたちの乗ってくるバスの集合場所になりますし、海釣りのプログラムなんかも使ってもら予定です。なんでも大勢集まるそうで、賑やかになりそうですね。



暮れゆく漁港をバックに、突然の飛び込み取材に照れながら応えてくださった角口さん。

地引網などのお手伝いもしますが、ともあれ珠洲の海は遠浅で、日本一の美しさです。たっぷりこの海を楽しんでいってください。そして能登の海はなんといってもおいしい魚がいっぱいです。地元の新鮮な食材をぜひ食べていってください。

カモン! 珠洲 ～その6～ 地元珠洲第1団の皆さんより

橋本 良助さん 珠洲第1団団委員長

珠洲市教育委員会ジャンボリー推進室主幹



珠洲第1団ボーイ隊のスカウトたちと橋本団委員長、道下副長。指導者のお二人は市のジャンボリー推進室でも大会の諸準備に当たっておられる。

あと4か月で待ちに待ったジャンボリーです。当団は現在カブ隊とボーイ隊のみの少人数の団ですが、地元団



珠洲市役所に置かれた市教育委員会のジャンボリー推進室にて「カモン! 珠洲」の藪推進室長と橋本さん。

として皆さんをお迎えできることをスカウト一同嬉しく感じています。

いつもの見慣れた町に全国から

スカウトなかまが大勢集まってくるということで、なんとも不思議な気分でもありますが、これまで人里離れた場所での開催がほとんどだったジャンボリーですから、「自分たちの暮らす町にジャンボリーがくる」という珍しい経験をさせていただけるんだなという感慨もあります。

皆さんがこの珠洲の思い出を全国により形で持ち帰っていただけたら嬉しいですね。

カモン! 珠洲 ～その7～ ボーイスカウトに大きく期待の珠洲市教育長より

成之坊 良輔さん 珠洲市教育委員会教育長

昨年の環日本海大会のときに地元交流プログラムで静岡のスカウトたちが20人ばかり私の家を訪問してくれたんですね。そのとき、玄関に靴を脱げば20人分が測ったようにビシーッと揃えられており、皆さんにアイスクリームをお出しすればカップはカップ、フタはフタとこれまたビシーッと揃えて片付けてくれたんですね。うちの家内もびっくりです。こういうことはボーイスカウト指導

者の皆さんにとっては珍しく感じないことかもしれませんが、外部の者からすると非常に新鮮な驚きなんです。

また、やはり環日本海での話ですが、韓国から来てくれた隊と通訳の方を通じてちょっと交流をさせてもらう機会がありました。その隊のリーダーが、あの「ヨン様」を教えたという学校の先生で、日本でのヨン様人気を大変喜んでおられたんですね。そんな雑談をさせていただいた後、韓国隊が会場を去られるバスをお見送りしたところ、皆さんバスが遠く離れて見えなくなるまでずっと私のほうに手を振ってお



急遽入った金沢出張を急ぎ終えて取材対応に駆けつけてくださった成之坊教育長。他にも楽しいお話をたくさん伺いました。ありがとうございました。

れたんです。なんだか民間レベルでの国際交流というものとはとても良いものだ、身近に実感できたんですね。こういう機会があることもまた、学校や家庭ではなかなか教えられない、ボーイスカウトならではのすばらしいところ。校長会などでもこんな話をするんですが、皆さんなるほどと感じておられます。

なかまと様々な体験をするボーイスカウトでは、子どもたちは自然に友だちと仲良く一緒にやっていくことを覚えます。ちょっと覗いただけではなかなかわからないこのボーイスカウトのすばらしさを、このジャンボリーの機会に地域の子どもたちが感じてくれるとすばらしいなと思います。より多くの学校の生徒がこのジャンボリーに関わり、全国、そして海外から集まってくるスカウトの皆さんと交流の機会をもつことができるよう、各学校へのPRなど今後も進めていきたいと思っています。

皆さん、ぜひ珠洲の子どもたちにボーイスカウトの楽しさ、すばらしさを伝えてあげてください。期待しています。

The Road to Suzu 珠洲への道

全国から集まってくる参加隊のバスは、一度能登空港隣接の道の駅をバスターミナルとして集合。サイトごとなどの入場隊列を整え、いざJ会場へ、と思いきや第2ターミナルとなる蛸島漁港にて再度隊列を整える。500台ものバスが一斉に集まるジャンボリーだから、交通整理もタイヘンなのだ。

能登空港



蛸島漁港





ジャンボリーにいかないスカウトたちの夏

～皆さんの隊のこと、教えてください～

毎号いろんな形でジャンボリーの情報を掲載し、大会ムードの高揚に努めている本誌ですが、この夏、すべてのスカウトがジャンボリーに参加するわけではありません。そこで、ジャンボリーに参加するスカウトも、しないスカウトも、ジャンボリーのあるこの夏をスカウトたちはどう楽しんでいくのかについて考えてみたいと思います。

まずは話題を探る意味で、2つの団に電話取材をさせていただきましたのでご紹介します。

事例1:東京のある団に聞きました

編 貴団のボーイ隊は今年、ジャンボリー(以下Jと略)に参加しますか？

■ 6人ほどのスカウトが参加します。参加しないスカウトもたくさんいます。

編 そのような隊の場合、夏キャンプはどのように？

■ 例年の夏キャンプにあたる長期キャンプについては、J参加スカウトはジャンボリーで、そうでないスカウトはカブ隊の夏キャンプにデンコーチとして参加します。その後、Jから帰ってきたスカウトと一緒に、ボーイ隊としての少し短い夏キャンプを行います。

編 Jに参加するスカウトとそうでないスカウトとで何かギクシャクしてしまったりはしませんか？

■ それはあまりありません。むしろカブ隊との交流もでき、またJに参加してきたスカウトたちが楽しい土産話とたくましくなってきたその姿で他のスカウトを刺激してくれる面が大きく、参加しないスカウトにとってもいい夏になるんですよ。

編 行きたかったのに行けなかった、というようなスカウトが残念さを引きずってしまったりはしませんか？

■ 今回は地区を通じて各団に割り当てられる参加人数の枠と希望者数がちょうどうまく合ったので問題なかったですね。過去には希望者がもれてしまうこともありましたが、それがスカウトに特に何か悪影響したという感じはうちの団ではなかったように思います。

編 希望者数と人数枠がたまさか合致したということですが、そうでなかったときの対応などは苦慮されますか？

■ 小学生が参加できなかった頃はほとんど問題を感じることはなかったんですが、ここ数回は少々気を遣うこともありました。ただ、J参加というのは参加費他諸々合わせて結構大きな出費となりますから、まずは各家庭で参加を希望するか、しないかをしっかり話し合ってもらいます。この時点である程度希望者数が絞られるんですが、うちの団ではその数と人数枠とがたまたまちょうどバランス良くいっているのかもしれませんが。

編 保護者の方にも何かケアしたりされますか？

■ 大きな経済負担を伴うJ参加となりますから、大会前年の秋頃から参加希望スカウト保護者だけのJ特別保護者会を設けるようにしました。なるべく早い段階から大会参加に関わる諸情報をできるだけ豊富にお伝えしていきながら、一緒に大会の夏への諸準備を進めてもらおうというわけです。これをこまめに行っていくには通常の保護者会では無理が出てしまいますし、また参加する子の家庭とそうでない子の家庭でなんとなく差異が生じてしまいがちですから。

事例2:福岡のある団に聞きました

編 J参加希望者と参加可能人数枠の調整について教えてください。

■ 当団では学年が上のスカウトから希望をとっていき、切りの良い学年のところでスパッと切るようにしています。同学年で行ける子と行けない子が出ないようにするわけですね。

編 そんなにピタッといきますか？

■ あと1人枠があれば、というような状況ではラウンドテーブルで他団に余った人数枠を分けてもらえないかお願いしますし、逆にこの学年まで全員は行けて枠が1人余ったというような場面では地区に返上するようにしています。

編 大人数の学年で半分くらいが分かれ目に、というようなケースでは困りませんか？

■ そうですね。地区での調整で補充が可能か、あるいは返納しなければならないか、悩ましいところですが、まあ実際にはそれほど大人数での調整ということではな

いので、地区での数人の枠調整くらいの範囲で決断しています。

編 すると、大体不公平感のようなものは発生していない?

■ いや、ところが隣の団からはうちよりも1つ下の学年の子たちまで参加できてしまうということもあり、やはり不満の声が上がることはありますね。

編 保護者の方はどうですか?

■ うちの団では毎月の保護者会で人数枠のことなどきちんと説明できていますから、ほとんど不満の声はありません。J参加希望をするような熱心な家庭の保護者はやはりきちんと毎月参加してくださっていますし。

編 学年上から希望ということで募っていきまると、班長、次長クラスは大体J参加という感じですか?

■ そうですね。だから隊の夏キャンプが難しくなってしまう面はあります。夏は仕上げの季節ですから、班長クラスの追い出しの意味も含めて後日少し短めの夏キャンプを設定しますが、隊指導者のJ参加もありますと、日程や両キャンプの諸準備など相当な負荷がかかってしまうという問題がありますね。近くの団ではJ開催年に

は隊キャンプをあきらめて団キャンプにするという方法をとっているそうですよ。

編 J参加希望がかなわなかったスカウトへのケアという面はどのように?

■ 同学年のなかまが揃ってということになりますのでケアしやすい面はありますが、やはり今回ボーイでの参加ができなくてもベンチャー、ローバー、そして指導者と何度でも奉仕参加ができるんだよ、という点を伝えるように努めています。ボーイで参加できず悔しかったから、ということでベンチャーでの奉仕参加により意欲的になってくれることもあります。そんな経験から指導者になってからも必ず毎回Jには参加している、なんて友人もいますよ。彼などは「でも、あの年代にスカウトとして参加したかったんだよね～」といつも悔しがっていますけど。



おたより大募集

今回ひとまず2つの団にちょっとだけお話を伺いましたが、まだまだ様々なケースがありそうです。

そこで読者の皆さんにお願いします。

ジャンボリー参加にまつわる「悩み」「夏キャンプ対策」「参加できなかったスカウトへのケア」「ジャンボリーに参加してよかったこと」「参加できず残念だった思い出」など、その他何でも結構です。皆さんの声をお寄せいただきたいと思います。

〈要領〉

郵便、FAX、Eメール、いずれでも結構です。書式などは問いません。以下記載いただき下段の宛先までお送りください。

1. 氏名

2. 所属団・役務

3. 現住所

(以上は必ずお書きください。掲載時の匿名希望は尊重しますのでその旨書き添えてください)

4. 所属団で14NJへの参加予定があれば教えてください。 (例:BS隊16人中7人参加。副長1人参加 など)

5. 各テーマについてジャンボリー参加にまつわる皆さんの声をお寄せください。部分記載のみでも結構です。

●悩みごとについて

●夏キャンプ対策について

●参加できないスカウトへのケアについて

●ジャンボリーに参加して(させて)よかったこと

●参加できず(させられず)残念だったこと

●その他ジャンボリー参加に関すること

※投稿者、あるいはスカウトたちと一緒に写っている写真など添付いただけると幸いです。

送付先

〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10

ボーイスカウト日本連盟

スカウティング誌 「ジャンボリー参加に関する声」係 宛

FAX 0422-31-5162

Eメール pr@scout.or.jp

(Eメールの場合は必ず送信メールの標題を「ジャンボリー参加に関する声」としてください)

このテーマに関するご投稿は6月号でとりまとめのうえ掲載させていただきます。4月末日(必着)でお願いいたします。

掲載させていただいた方には本誌投稿記念品をお送りします。話題ごとの部分掲載もありますので、投稿記念品ゲットのチャンスです!

隊活動のヒント

プログラム委員会「野外活動検討チーム」からの発案で、今月号より毎月、主にビーバー、カブ隊の「野外あそび」の実践ヒント集をお送りします。題材は月替わりですが、連載として「隊活動で実践できるヒント」をテーマとしています。皆さんからも実践例などお寄せいただき、使えるヒント情報交換の場となれば幸いです。

キーワード：観察・想像・いつでも、戸外（野外）ならどこでも

アクティビティ名	めだまっち
ねらい	自然をじっくりと観察する。自然に親しみをを感じる。
内容	自然の中で顔に見えるものを見つけ、目玉シールを貼ってみる。
指導上のポイント	何も見つけられないスカウトがいたら、最初は一緒に見つけてあげよう。貼ったシールは最後に回収しよう。
準備物	白い円形のシール紙・黒マジック（1人1本）

金沢第〇団ビーバー隊 ◇月△日の隊集会

場所：町の公園 テーマ：自然と仲良し

隊長：この公園に「めだまっち」が現れたって聞いたけど、みんな知ってる？

スカウト：知らなあ〜い。大体「めだまっち」って何ですか？

隊長：えっ〜みんな「めだまっち」知らないの？ 春になって最近あちこちで出てるみたいだよ。あっ、あそこにいるぞ!!

スカウト：あははは、なんだあ〜。でも顔に見えるよね。

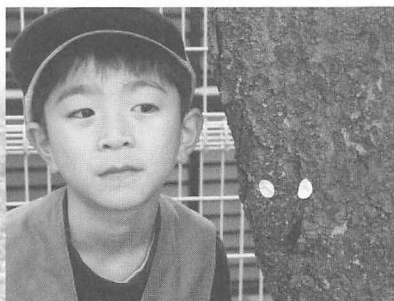
隊長：みんなも作ってみたいでしょ。

スカウト：うん、作りたい!! みんながめだまっちを作った後

隊長：隊長のめだまっちは「ひょっと君」っていうんだけど、みんなのめだまっちにも名前を付けてみようか。そして、ここにいる誰が遊びに来るかとか、嬉しいことやつらいことなどちょっと木の気持ちになって考えてみようか。

スカウト：は〜い。ぼくの「めだまっち」は顔がザラザラしているので「ざらざらくん」って名前です。ここにいる嬉しいことは春になるときれいな花が咲いてみんなが見に来てくれることです。そして……

スカウトはこの木の気持ちになっているんなお話をしてくれました。



『進め方』

- ①リーダーはあらかじめ探しておいた自然物に目玉シールを貼っておく。
- ②フィールドが見渡せるところに集まり、ここにどんな生き物がいるか問いかける。
- ③いくつか声がかえってくると思うが、それ以外にも友だちがいることを伝え、あらかじめ見つけておいた自然物をスカウトたちに紹介する。
- ④「みんなも友だちを見つけてよう!」と言って、時間と範囲を決めてスタートする。
- ⑤リーダーは、スカウトたちの様子を見て回りながら、アドバイスしたり、見つけた友だちを紹介してもらったりする。
- ⑥時間がきたら全員集合し、見つけた友だちに会いに行き、感想を言い合う。
- ⑦最後にシールを回収する。

参考：『子どもと一緒に楽しむ自然体験アクティビティ集』（社）日本環境教育フォーラム編集発行

★アクティビティ大募集★

このコーナーでは、皆さんが隊で実践したプログラムやアクティビティを募集しています。スカウティング編集部「隊活動ヒント・アクティビティ係」まで、どしどしお寄せください。また、編集部と共同でアクティビティを実践してくださる隊も募集いたします。皆さん、ふるってご応募ください!（目次ページ下段の宛先まで）

日本連盟プログラム委員会 野外活動検討チームからのお知らせ

当チームでは現在、この活動に加わって間もない指導者の方にもわかりやすい、特にボーイスカウト部門を中心とした「キャンププログラムの展開法」をとりまとめていると考えています。ゆくゆくは『指導者のためのスカウトキャンプ』の改訂につなげていくことを想定していますが、まずはその在り方についての議論から取り組んでいきます。

内容はいずれも、隊活動の現場での展開事例などを参考に、より実践的なものにしていきたいと考えています。以下、現在想定している目次例を記載します。それぞれの分野での実践例など、指導者の皆さんのお知恵を拝借できればと思います。ぜひ事例のレポートなどをお寄せください（宛先は本記事の投稿先と同様で結構です）。

【スカウト活動での「キャンプ」を考える】

- ボーイスカウトにおける野外活動とは何か。
- スカウトキャンプとはそのはじまりと歴史
- 教育的意義
- 種類
- 配慮事項（アウトドアコード、スカウト環境行動スローガン）
- スカウトキャンプの実施
- キャンプの内容を考える
- キャンプ地を選ぶ
- 備品の点検と手入れ
- キャンプの食事
- 個人の携行品
- パッキング
- 設営
- サイトの設計
- テントの種類 張り方 テントのつとめ（晴、雨）
- 基本的な生活
- プログラムの実例（参考例）
- ウッドクラフト
- 野外料理
- セレモニー
- 点検（項目と行い方 評価の観点）
- キャンプファイア
- 撤営
- 資料
- 保険について



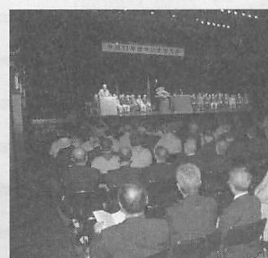
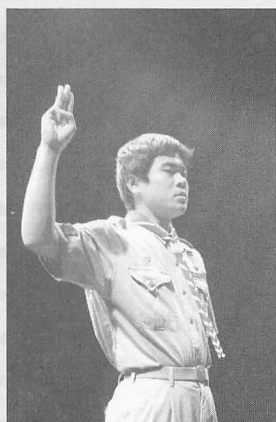
平成18年度

財団法人ボーイスカウト日本連盟全国大会のご案内

スローガン より良いスカウティングを より多くの青少年に!

この運動の今を知り、明日を見据える お世話になったあの人にまた会える

全国大会は、記念講演、表彰、事業説明などをはじめ、テーマ別集会、様々なグループでの集い等をあわせ行う全国の指導者のための年に一度の全国集会です。本年度は2泊3日で開催します。主なプログラムは、5月27日～28日の1泊2日ですが、27日は9:00開始となりますので、前日からのご参加をおすすめします。
一人でも多くの皆様のご参加をお待ちしております。



■期 日:平成18年5月26日(金)～28日(日)

■場 所:石川県七尾市和倉温泉 茶寮の宿「あえの風」
交通:七尾線と倉温泉駅下車、送迎バス5分
<http://www.kagaya.co.jp/aenokaze/>

■主 催:財団法人ボーイスカウト日本連盟

■開催協力:ボーイスカウト石川県連盟

■参 加 者:
1. ボーイスカウト指導者・役職員
2. スカウトの保護者、育成会員、スカウトクラブ会員等
3. ローバースカウト
4. 来賓・その他

■参 加 費:1人あたり 2,000円 (資料代および記念品代)

■宿 泊 費:1人あたり
●5月26日(金)1泊2食(飲み物別)13,800円
●5月27日(土)昼食・1泊2食(懇親会費含)20,000円
(追加飲み物は、有料コーナーを設置)
●5月27日(土)昼食会のみ参加(弁当代)1,000円
※夕食懇親会費は、15,500円となります。このため今回は、懇親会のみ
の参加は設定しておりません。特にご希望の方は、ご相談ください。

■全体日程:
●第1日 5月26日(金)
13:00 受付開始
14:00～18:00 (1) 県連盟コミッショナー会議
15:00～17:00 (2) 全国理事長懇談会
17:00～18:30 休憩・入浴
18:30～21:00 (3)各グループでの会合・夕食会
①ブロック(ブロック別に会場を用意しております)
②ウッドバッジリユニオン
③スカウトロータリアンの集い
④その他(グループ別会合以外の参加者用)
●第2日 5月27日(土)
9:00～11:00 (4)開会セレモニー・日本連盟事業説明会
①年次報告・説明(17年度事業および決算、18年度事業および予算)
②世界スカウト運動創始100周年記念事業3年度目の展開

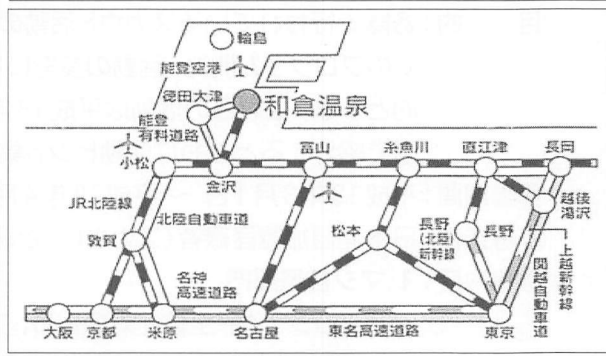
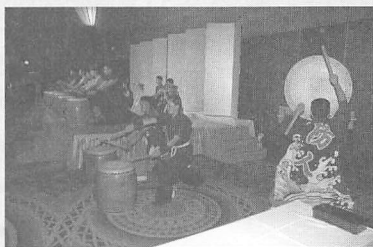
18年度全国大会日程表

26日(金)	時刻	27日(土)	28日(日)
	07:30		朝食会 講演会2 もてなしの心
	09:00	・開会セレモニー ・年次報告・説明 ・100周年3年目の展開	テーマ別集会
	09:30		
	10:00		
	11:00		
	12:00	昼食会 ・表彰伝達式	教育本部会議
	13:00		
受付開始	14:00		
県連盟 コミッショナー会議	15:00	講演会1 イギリス連盟の組織改革 21WSJについて	14 N J 会場見学等(有料)
	17:00		
全国理事長 懇談会	18:00		
	18:30	夕食懇親会	
夕食会	18:30		
	20:00		

□ 表の部分は休憩・入浴
などの時間です。



会場となる
「あゑの風」



「あゑの風」以外の写真は前年のイメージです。

- 11:00～12:00 休憩(懇談・展示コーナー見学等)
 12:00～14:00 (5)昼食会(日本連盟表彰伝達式)
 14:00～15:00 休憩(懇談・展示コーナー見学等)
 15:00～17:00 (6)講演会Ⅰ
 演題 1. イギリス連盟の組織改革について
 講演者:デレク・フイン氏(イギリス連盟事務局長)
 演題 2. 第21回世界スカウトジャンボリーについて
 講演者:ビル・コックロフト氏(21WSJディレクター)
 17:00～18:00 休憩(入浴等)
 18:00～20:00 (7)夕食懇親会(来賓挨拶、ゲスト紹介他)

●第3日 5月28日(日)

- 7:30～9:00 (8)朝食会(講演会Ⅱ)
 演題 もてなしの心
 講演者:小田禎彦氏(株)加賀屋代表取締役会長
 9:30～12:00 (9)テーマ別集会
 12:00～14:00 (10)教育本部会議

■展示コーナー:

5月27日(土) 9:00～5月28日(日)12:00
 期間中を通して開催

- ①第14回日本ジャンボリー
- ②第21回世界スカウトジャンボリー
- ③バングラデシュ・CJKプロジェクト
- ④100周年
- ⑤子どもの居場所
- ⑥他団体紹介
- ⑦企業展示(小川テント・モンベル・アシックス・日本光電工業)
- ⑧スカウト用品展示販売

■宿泊予約:宿泊については、日本連盟ホームページ内、全国大会ページの「大会参加・宿泊・観光お申し込みのご案内」をご覧ください。14NJ会場見学等周辺ツアー・観光の手配などもあります。

日本連盟トップページ ⇒ インフォメーション ⇒ 18年度全国大会
<http://www.scout.or.jp/j/info/zenkoku/top.html>

■申込期日:4月5日(水)までにお申し込みください。

●全国大会についてのお問い合わせは
 財団法人ボーイスカウト日本連盟
 〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10
 TEL 0422-31-5161(代)
 FAX 0422-31-5162
 Eメール:kaigi@scout.or.jp
 担当:総務グループ渉外文書チーム

テーマ別集会

No.	委員会	主な内容
1	プログラム	ワークショップ「部門プログラムの充実を考える」
2	組織拡充	スカウト運動推進委員会提案の「柔軟な組織の検討」に関する意見交換 1. 加盟登録できる会員種別の拡大について 2. スカウトクラブにおける活動団への支援策について
3	広報	意見交換 1. 団・地区・県連盟広報の役割と方法について 2. スカウト広報関係者ネットワークの設置について
4	国際	1. 海外渡航の各種手続き、21WSJ派遣団の派遣員募集、14NJ外国スカウトの受け入れ 2. 海外派遣報告会(バングラデシュ・CJK派遣)
5	アダルトリソース	団運営セミナー「団の運営を考える」
6	ユース	シンポジウム「若者のためのプログラムのヒント」



活動自慢コンテスト

募集要項

ボーイスカウト日本連盟では主としてユース年代の活動活性化のために全国から活動例を募集し、これからのスカウトの活動のヒントにしたいと考えています。この機会にスカウトのためのユニークで楽しい活動自慢をどしどしお寄せください。成功自慢だけでなく、失敗自慢也大歓迎です。

目的: 各隊で行われているスカウト活動の良いところを積極的に評価し、それを日本連盟、県連盟、また他の隊でのプログラム開発、活動の参考にしてもらい、さらなるスカウティングの参考にしてもらうことを主な目的とする。これらの活動は平成18年度全国大会、スカウティング誌等をはじめスカウティングの様々な場面で紹介するとともに活動ヒント集等の参考資料とする。

募集期間: 平成18年3月1日～平成18年4月30日(当日消印有効)

応募条件: 日本連盟加盟登録者(スカウト、指導者)

募集内容: 1. マジ自慢部門

: プロジェクト全体を対象とし、プロジェクト内すべてを対象に評価を行う。

(例: 小学校のお祭りの交流会プロジェクト 等)

2. プチ自慢部門

: プロジェクト内の一つの活動を対象に評価を行う。

(例: 交流会でのキャンプファイア 等)

応募書類: 受付フォーム および 活動資料

Eメールによる応募の場合は「受付フォーム」の内容をわかりやすく書いて送信してください。

主催: ボーイスカウト日本連盟(担当: ユース特別委員会)

選考方法: 担当委員による項目別採点方式

- ・ スカウト主体で活動している(いかに体験し、どんな発見をしたか)
- ・ 活動する前と後でどれだけ成長したか、活動に自信をつけたのかがわかる
- ・ 創意工夫が見られる
- ・ 今後のスカウティングの参考資料となる
- ・ ちかいとおきてを考慮しているか
- ・ その他(地域への貢献、世界的視野など)

発表: 全国大会会場(5月26日～28日)、スカウティング誌、他で公表の予定

賞品: 各部門ともに、金賞(1組)、銀賞(2組)、努力賞(若干)とし、賞状と記念品を贈呈の予定。特に優秀な活動については、平成18年度全国大会(於: 石川県・和倉温泉)での紹介も計画しております。

提出先: ボーイスカウト日本連盟 教育グループプログラムチーム

〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10 TEL 0422-31-5168 FAX 0422-31-5162

Eメール program@scout.or.jp

その他不明な点は上記まで

応募のための受付フォームはホームページからダウンロードしてください。

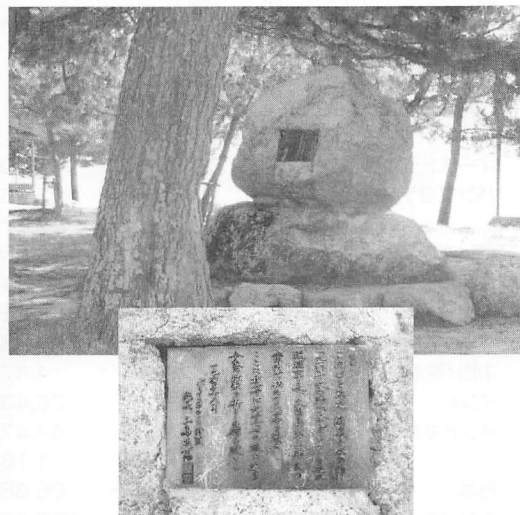
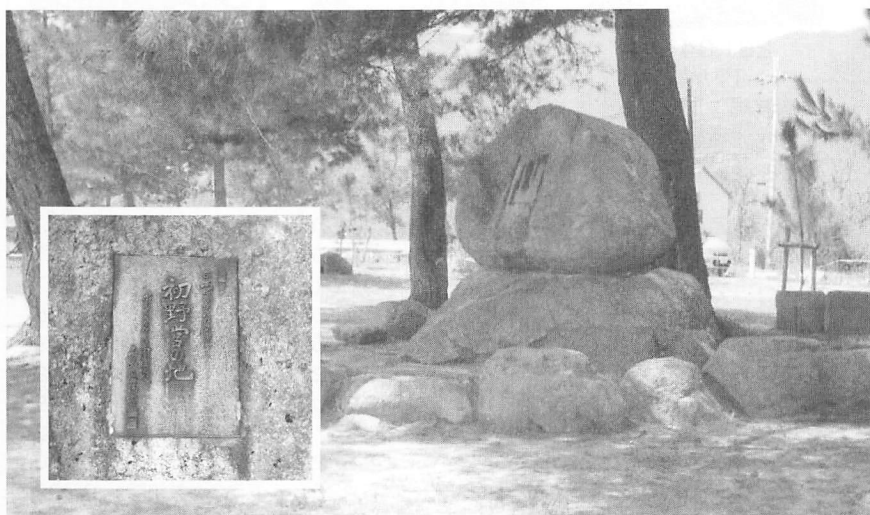
日本連盟トップ ⇒ インフォメーション ⇒ 活動自慢コンテストバナー

<http://www.scout.or.jp/j/info/pr/katsucon/top.html>

全国ボーイスカウトゆかりの地探訪

①日本ボーイスカウト初野営の地～滋賀

日本のスカウト運動も80余年の歴史を重ね、全国各地にスカウト運動に関する幾多の記念碑・像・史跡・野営地・各種記念物等が存在しています。世界スカウト運動創始100周年(2007年)を機会に、全国各地の「日本のスカウト運動ゆかりの地」を「日本ボーイスカウト探訪100選-スカウティング・メモラビリア・ガイドブック-」として取りまとめるべく、広く各県連盟・関係各位にその候補地の推薦を呼びかけています。この項では各都道府県連盟からご推薦いただいた「ゆかりの地」を毎月紹介していきます。



日本のボーイスカウト運動の先覚者である故中野忠八氏(少年団日本連盟名誉理事)が、1916年(大正5年)に京都市の少年義勇(現在のボーイスカウト)の少年たちを率いて天幕を張ったという記念の場所です。

1960年(昭和36年)5月、日本ボーイスカウト滋賀連盟が記念碑を建立。碑文は当時の日本連盟総長、三島通陽氏書いています。

碑の表の文字は(写真左中の板)

日本ボーイスカウト

初野営の地

ボーイスカウト日本連盟

総長 三島通陽 印

とあり、その裏には(写真右)

上記の中野氏によるキャンプが、久留島秀三郎氏(元日本連盟理事長)の案内によるものだったことなどに触れた三島通陽氏による文が添えられています。

その冒頭に「この白き浜辺緑濃き松

の陰に」とあるよう、この碑が立てられた琵琶湖畔の松林は、今も豊かな松の木陰から湖水を臨むことができるキャンプ場です。

100年近く前の日本で行われた少年たちの初野営。記念碑を訪ねただけでなく、当時の様子に思いをはせながら一度は野営をしてみたい。そんな「ゆかりの地」です。



■推薦の言葉

滋賀連盟 理事長

山本 健二

我が県に日本のボーイスカウト「初野営の地」があることは、

県内のスカウト関係者にとって誇りであるとともに、この運動を一層発展させるための先導役でもなければならないという責任感に身の引き締まる思いでもあります。

県連盟事務局まで事前に連絡いただければご案内いたしますので、どうぞお立ち寄りください。

■アクセス

JR湖西線 近江舞子(おうみまいこ)駅より南へ1.0km。旅館「白汀苑」南隣。

記念碑の問い合わせは滋賀連盟へ。
電話：077-522-3681
キャンプ場は地元南小松公民館へ。
電話：077-596-0033



世界スカウト運動創始100周年記念事業「日本ボーイスカウト探訪100選」の推薦は、各都道府県連盟を通じて日本連盟にいただいています。当初のご推薦締切時期は過ぎていますが、引き続き多くの情報をお待ちしています。各団や個人でご存知の「ゆかりの地」がありましたら、所属都道府県連盟事務局までお知らせください。

なお、推薦要項などの詳細は日本連盟ホームページの100周年記念事業の項をご参照ください。

<http://www.scout.or.jp/j/info/pr/100nen.html>

世界のスカウト人口

世界スカウト機構加盟国と加盟員数

1907年にイギリスで始まったスカウト運動は、全世界の216の国と地域において活動が展開され、多くのスカウトたちが活動しています。その数は2,800万人以上。スカウトの世界組織である世界スカウト機構(WOSM)には、155の国と地域のスカウト組織が正式加盟しています。

世界スカウト機構加盟国と加盟員数

正加盟 合計

155か国 2,600万人



アジア太平洋地域

16,629,049人

23か国

事務局：フィリピン

オーストラリア	98,084
バングラデシュ	908,435
ブータン	6,716
ブルネイ	2,772
中国(台湾)	69,452
フィジー	2,821
中国(香港)	74,147
インド	2,138,015
インドネシア	8,909,435
日本	196,550
キリバス	1,333
大韓民国	252,157
マレーシア	96,893
モルジブ	4,518
モンゴル	8,655
ネパール	12,341
ニュージーランド	23,537
パキスタン	526,403
バブアニューギニア	2,811
フィリピン	1,956,131
シンガポール	11,163
スリランカ	21,653
タイ	1,305,027

ヨーロッパ地域

1,622,057人

40か国

事務局：スイス

アルバニア	1,000
オーストリア	13,785
ベルギー	88,271
ボスニア・ヘルツェゴビナ	1,514
ブルガリア	1,832
クロアチア	4,068
キプロス	4,478
チェコ	26,435
デンマーク	47,475
エストニア	1,167
フィンランド	26,885
フランス	102,405
ドイツ	123,937
ギリシャ	18,992
ハンガリー	11,243
アイスランド	1,526
アイルランド	36,783
イスラエル	21,920
イタリア	100,675
ラトビア	1,179
リヒテンシュタイン	752
リトアニア	1,500
ルクセンブルグ	5,418
マケドニア・旧ユーゴスラビア共和国	1,988
マルタ	2,531
モナコ	49
オランダ	57,484
ノルウェー	19,929
ポーランド	85,822
ポルトガル	70,863
ルーマニア	4,930
サンマリノ	159
スロバキア	4,118
スロベニア	6,357
スペイン	74,561
セルビア・モンテネグロ	30,493
スウェーデン	60,122
スイス	52,349

アラブ地域

261,041人

17か国

事務局：エジプト

トルコ	8,174
イギリス	498,888
アルジェリア	11,120
バーレーン	1,820
エジプト	74,598
ヨルダン	15,538
クウェート	6,061
レバノン	14,334
リビア	13,698
モーリタニア	3,790
モロッコ	12,304
オマーン	10,654
パレスチナ	20,275
カタール	3,244
サウジアラビア	19,267
スーダン	13,550
チュニジア	28,483
アラブ首長国連邦	5,824
イエメン	6,481

ユーラシア地域

21,806人

6か国

事務局：ウクライナ

アルメニア	2,256
アゼルバイジャン	1,414
グルジア	1,092
モルドバ	1,540
ロシア	14,000
タジキスタン	1,504

アフリカ地域

675,728人

37か国

事務局：ケニア

アンゴラ	13,777
ベナン	19,605
ボツワナ	4,660
ブルキナファソ	10,165
ブルンジ	6,661
カーボベルデ	1,500
カメルーン	6,535
チャド	8,132
コモロ	2,200
コンゴ民主共和国	62,842
コートジボアール	6,436
エチオピア	1,000
ガボン	3,835
ガンビア	15,632
ガーナ	2,311
ギニア	0
ケニア	151,722
レソト	371
リベリア	2,418
マダガスカル	9,473
マラウイ	4,000
モーリシャス	3,076
モザンビーク	16,675
ナミビア	1,816
ニジェール	4,352
ナイジェリア	46,701
ルワンダ	18,884
セネガル	26,373
セイシェル	0
シェラレオネ	7,902
南アフリカ	13,118
スワジランド	4,994
タンザニア	102,739
トーゴ	8,890
ウガンダ	77,894
ザンビア	7,427
ジンバブエ	1,612

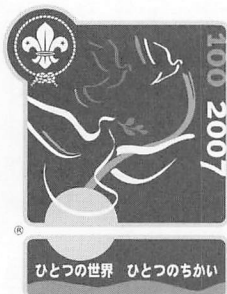
インターアメリカ地域

6,768,469人

32か国

事務局：チリ

アルゼンチン	44,981
バハマ	729
バルバドス	3,032
ベリーズ	1,211
ボリビア	7,521
ブラジル	66,375
カナダ	212,259
チリ	33,812
コロンビア	12,808
コスタリカ	9,752
ドミニカ	1,100
ドミニカ共和国	8,702
エクアドル	4,132
エルサルバドル	3,970
グレナダ	1,665
グアテマラ	11,395
ガイアナ	294
ハイチ	9,859
ホンジュラス	5,174
ジャマイカ	6,272
メキシコ	39,327
ニカラグア	2,056
パナマ	2,263
パラグアイ	1,000
ペルー	12,677
セントルシア	393
セントビンセント・グレナディン	541
スリナム	2,601
トリニダード・トバコ	4,655
アメリカ合衆国	6,239,435
ウルグアイ	3,965
ベネズエラ	14,513



世界スカウト運動創始100周年
世界共通記念標章(ワッペン)
One World One Promise
ひとつの世界 ひとつのちがい

(2005年9月現在)

原点をたどるシリーズ ③-4

ウッドクラフトとは

中村 知 1966(昭和41)年連載

このシリーズはスカウティングの原点に繋がる空気のようなものを、比較的新しい指導者の皆さんにも感じていただこうということで、本誌のバックナンバーから価値あると思われる記事をそのまま再録・紹介しようというものです。ページの都合で回の区切りが当時のものと異なることがあります。

以上の分析から私は、ベーデン・パウエル
のウッドクラフトは、追跡から始まったこと、
そしてそれが同時にスカウティングにおいて
も、出発点であったことを確認したのである。

シートンとダン・ベアードの2人は、画家と
して出発し、野生動物に愛情を感じたことが、
ウッドクラフトへの導きとなり、ケファートは、
道に迷い、荒野で暮らす生活の必要からウッ
ドクラフトに入門したものと考える。そうい
うちがいから見ると、ベーデン・パウエルの
出発点は、ゴタルミンでの少年時代の経験が
出発点であり、後年騎兵将校となってその職
掌とする観察、推理で根をはったと、私は考
える。

すなわち彼のウッドクラフトは、軍人にな
ってからの入門ではなかった。すでに少年時
代にそのスタートがきられ、ことにチャータ
ーハウス校が、ロンドン郊外ゴタルミンのい
なかに移転してからの環境が、その実習場を
彼に与えていたのである。彼が騎兵士官にな
った動機は、英国がインドを領有し、東洋お
よびアフリカに発展の結果、海外領土に行く
軍人を求めているという時運にかられたとい
う運命論からもくるだろうが、すきでたま
らなかったウッドクラフトを続けたいという
若者らしい冒険心(挑み)がそうさせたように
も考えられる。

そこで私は、この少年時代にスタートした
彼のウッドクラフトが、どのような成長・発
展・展開をしたかというテーマを設定して、
これを追跡してみたいと思う。まず第1に、
彼のウッドクラフトは、彼自身の実践から発
した、ということ。すなわち、他人のマネを
したのではないということである。ただし、
そうなるについては、他からの影響が全然な
いわけではなかった。彼の母は「行うこと
によって学ぶ」(Learning by Doing)という新
しい教育法をとったし、自然の観察を大いに
奨励した。私は、この教育思想はたぶん「エ
ミール」の著者、ジャン・ジャック・ルソーの
影響だと考える。そのことについてはここで
詳細に立証するページはないが、「ルソーは
疑いもなく19世紀の、イギリスの教育、とく
に幼年期の教育に影響をあたえた」とは、W・
O・レスター・スミス著「教育学入門」(周郷博
訳、岩波新書本の52ページ)にあり、同書は

「ルソーの影響」と題して49～59ページ(訳
本の)にわたって詳説している。これを読む
ならば、ルソーの教育思潮は、ロバート・オー
エンにつながり、ペスタロッチやヘルベルト
やフレーベルにつながり、モンテッソーリ、そ
してデューイにつながるという。私は、ベー
デン・パウエルにもつながったと思考するの
である。

私が、なぜ、このような立論をするかとい
えば、さきのシートンやダン・ベアードや、ケ
ファートのウッドクラフトは、教育というほ
どのものではなかったがベーデン・パウエルの
ウッドクラフトは、それが「教育」活動に展開
されたので、一応、教育史の上での位置づけ
をしたいと思ったためである。

換言すれば Scouting という新しい教育活
動にふ化したのだ。Scouting という成虫
から見れば、その幼虫が Woodcraft なの
である。すなわち、ベーデン・パウエルのウッ
ドクラフトは、ウッドクラフトのままでおしま
いになるウッドクラフトではなく、スカウティ
ングに伸びる要素としてのウッドクラフトで
ある、ということになる。そういう点で、シ
ートンなどとは異質だといえる。

ただし、シートンはボーイスカウトと一時
は合流したが結局、元来の古巣にもどった。
ダン・ベアードは、とにかくスカウティングを
受け入れていっしょにはなったが、あるいは、
寄生していたのかもしれない。

ここで私は、ベーデン・パウエルとシート
ンとの、出会いについて永年、知りたかつ
たのであるが、それが、やっと、わかるよう
になった。そのことは——、レイノルズの
「スカウト運動史」(Reynolds : “The
Scout Movement”)と、ヒルコートおよ
び、レディ・ベーデン・パウエル共著の「ベー
デン・パウエル」(William Hillcourt with
Olave, Lady Baden-Powell : “Baden-
Powell”)によって判明した。

まず、レイノルズの本(原書の7～8、32、
72、102ページ)を見る。

○1906年10月、彼(ベーデン・パウエル)は、
米国で Woodcraft Indian 団を創始した
Ernest Thompson Seton に会った。その
場で彼は自分が今まで考えてきたいかな

るものよりも、自分の考えに近い体系を
発見することができた。ベーデン・パウエ
ルの日誌の覚え書きには次のように書い
てある——

10月30日、トムソン・シートンと昼食。
氏は、レッドインディアン・ボーイズ(団)
の体系についてすべてを語ってくれた。
(以下省略、これは『スカウト運動』に
出ているから——)

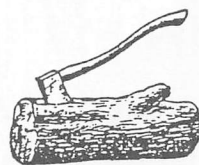
○シートンの方式は、北米インディアンの技
術をもとにしたというよりも、むしろ彼シ
ートンの空想(その風習、習慣についての)
のほうが大きい。そのころ Catlin の書
いた “North American Indian” という
本は、少年たちに好評であったから自分も
読んだが、それはシートンの考えているイン
ディアンよりも正しいものであった。

○ベーデン・パウエルは、そのような原始民
族については、南西アフリカにおいても実
見してきたので、その長所は認めるがそれ
には限界がある。少年たちが見習うような
模範の人間とは考えたくない。

○もし、それが少年の興味をひいたとしても、
少年というものは飽きやすいから、持続性
があるとはいえない。それよりも辺境生活
者、探検家、開拓者の属性に焦点をあわし
たほうが発展性がある。

レイノルズは、ここで、ベーデン・パウエル
の卓見をほめたたえている。もし、彼が、シ
ートンみたいなことをしていたなら、教育活
動に発展しないだろうし時代とともに減び
てしまっただろう、といっている。私はこの
レイノルズの史的着眼に対して敬意を払い
たい。

— つづく



～ 式年遷宮と日本人の心 ～

宗教関係代表者会議構成員 寺井 種治

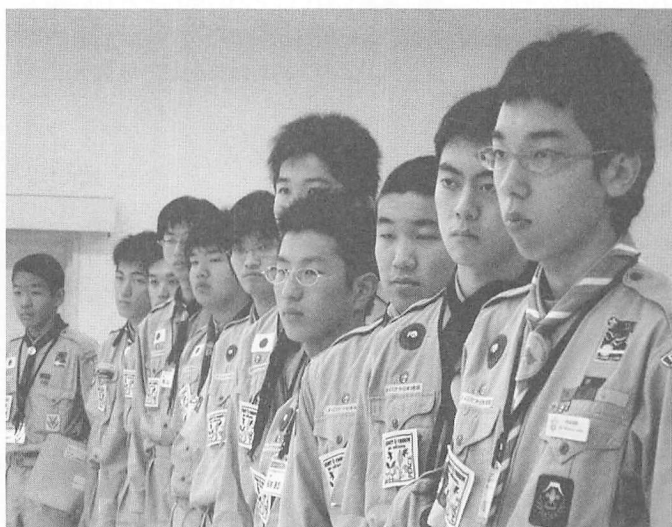
私たちは普段「神宮^{じんぐう}」のことを親しみを込めて「お伊勢さま^{だいじんぐう}」「大神宮さま」または「伊勢神宮」と呼んでいるが、ただ単に「神宮」というのが正式である。この「神宮」とは三重県伊勢市にご鎮座で皇室の御祖神である天照大御神を御祭神とする皇大神宮（内宮）と衣食住の恵みの神である豊受大神を御祭神とする豊受大神宮（外宮）を合わせたの称号である。

神宮は古くから「日本人の心のふるさと」といわれ毎年大変多くの参拝がある。特に江戸時代には多い年で500万人もの人々が参宮したといわれている。「伊勢に行きたい 伊勢路が見たい たとえ一生に一度でも」と謡われた「伊勢参り」は江戸時代の庶民の夢であった。そして今日でも神宮の神域に一步足を踏み入ると、その清々しく凜とした空気には心が洗われ身が引き締まる思いがする。

平安時代の歌人でもある西行法師は参宮の際に「何ごとの おはしますかは しらねども かたじけなさに なみだこぼるる」とその感激を和歌に詠んでいる。その神

宮では20年に一度御正殿^{ごしょうでん}をはじめとするすべての社殿と鳥居や宇治橋を新しく建て直し、御神宝や装束なども造り替える式年遷宮が行われている。この制度は今から約1300年前に定められ戦国期などの中断期を除き今までで連綿と続けられている。そして平成25年（2013）には第62回の式年遷宮が予定されていて、諸準備が進められている。遷宮によって神宮は20年に一度生まれ変わる。そして日本人の心と伝統を今に伝えているのだ。

私たちの生活の中には、遠く祖先から引き継がれてきたものが多くある。私たちにはそれらを正しく理解して、必ず未来へ伝えていく責務がある。日本人が古くから大切にしてきた伝統文化には、それが現代に伝わるだけの意味や価値が必ずある。今私たちは日本の歴史や文化に誇りを持って胸を張って生きていくことがとても大切である。どうか輝かしい我が日本のボーイスカウトとして誇りと高い志を持ってスカウティングに励んでいただきたい。



おすすめの冊



著者はニューヨークのテロ事件を契機として、宗教や民族を越えた世界を日本人の原点である伊勢の神宮に求めた。2年に及ぶ取材を通して、神宮の様々な祭りや式年遷宮について写真と文章でとてもわかりやすく解説している。

『伊勢の神宮』

編者 南里空海（なんりくみ）

出版 世界文化社

定価 2,940円（税込）

INFORMATION

APRIL
2006

日本連盟からのお知らせ

■財務委員会(第4回)の開催(報告)

日 時: 2月10日(金) 14:00~16:00
場 所: 東京・ソニー株式会社8号館会議室
出 席: 橋本委員長他3人
協議事項: 1. 平成17年度決算見込みについて
2. 平成18年度収支予算について
3. 国際協力資金の予算について
4. 募金活動について

■国際委員会(第4回)の開催(報告)

日 時: 2月18日(土) 13:00~19日(日) 10:30
場 所: 東京・ボーイスカウト会館
出 席: 檀上委員長他4人
協議事項: 1. 平成17年度日本連盟事業報告書・国際関係原稿の取りまとめについて
2. 平成17年度春季国際関係事業への取り組みについて
3. 平成18年度・19年度国際関係事業への取り組みについて
4. スカウト運動推進に関する検討課題について(H17・18重点目標を含む)
5. 日本連盟の国際化の推進について
6. 今後の国際協力プロジェクトについて
7. ユースの国際活動に対する支援について

■スカウト運動推進委員会(第13回)の開催(報告)

日 時: 2月19日(日) 10:00~12:30
場 所: 東京・在日本韓国YMCAアジア青少年センター
出 席: 和田委員長他4人
協議事項: 1. スカウト運動推進に関する検討課題
理学会の分担課題について
2. 「指導者養成訓練体系検討特別委員会
検討のまとめ」答申の検討について

■第14回日本ジャンボリー実行委員会(第8回)の開催(報告)

日 時: 2月19日(日) 13:00~16:30
場 所: 東京・金刀比羅宮東京分社
出 席: 西村委員長他26人、参席1人
協議事項: 1. 名誉役員と大会役員の就任依頼について
2. 後援名義の使用申請について
3. 平成17年度決算と平成18年度予算について
4. 安全管理ハンドブックの作成について
5. 各SCからの質問・要望事項について
6. 各専門部会からの調整事項について
7. 今後の予定について 他

■プログラム委員会(第5回)の開催(報告)

日 時: 2月25日(土) 13:00~26日(日) 10:00
場 所: 東京・ボーイスカウト会館
出 席: 上道委員長他6人
協議事項: 1. ユース特別委員会との合同会議

2. 青少年プログラムの総体的見直しについて
3. 各種短期担当事業の取り組み内容について
4. 信仰奨励章の導入について
5. 平成18年度全国大会テーマ別集会の企画について

冒頭の2時間ほど、プログラム委員会とユース特別委員会との合同会議を行い、両委員会での検討状況の説明と青少年プログラムの総体的な見直し、ローバー年代の活動の充実化について意見交換を行いました。

■組織拡充委員会(第4回)の開催(報告)

日 時: 2月25日(土) 13:00~26日(日) 11:00
場 所: 東京・ボーイスカウト会館
出 席: 渡邊委員長他4人
協議事項: 1. 前回委員会記録の確認について
2. 平成18年度「年次全国大会」の進め方について
3. 平成17年度の事業報告について
4. 「スカウト運動推進委員会」からの提案事項について
5. 平成18年度の事業計画(案)について
6. 今後の日程について 他

■広報委員会(第4回)の開催(報告)

日 時: 2月25日(土) 13:00~26日(日) 10:30
場 所: 東京・ボーイスカウト会館
出 席: 有野委員長他2人
協議事項: 1. 「スカウティング」誌の中期企画について
2. 機関誌「スカウティング」誌の販売促進について
3. その他の広報事業について
・「広報マニュアル」の作成について
・ホームページのリニューアルについて
・全国大会分科会について

■安全委員会(第4回)の開催(報告)

日 時: 2月25日(土) 13:00~26日(日) 10:30
場 所: 東京・ボーイスカウト会館
出 席: 豊秀委員長他3人
協議事項: 1. 日本連盟傷害共済制度事故報告と安全教育について
2. 災害時における奉仕活動について
3. 危機管理への対応について
4. 平成17年度安全委員会事業の評価と次年度事業計画について

■アダルトリソース特別委員会(第4回)の開催(報告)

日 時: 2月25日(土) 13:00~21:00
場 所: 東京・ボーイスカウト会館
出 席: 西田委員長他2人
協議事項: 1. スカウト運動推進に関する検討課題の
分担事項「団委員長養成を強化する」
への取り組みについて
・団委員長の任期・任務・選出方法
2. 平成18年度ボーイスカウト日本連盟
全国大会テーマ別集会について
・主旨、講師、展開について

■ユース特別委員会(第4回)の開催(報告)

日 時: 2月25日(土) 13:00~26日(日) 10:30
場 所: 東京・ボーイスカウト会館
出 席: 逢坂委員長他3人
協議事項: 1. プログラム委員会との合同会議

2. ローバースカウト年代の活動強化について
3. ユース年代の活動の活性化について
4. 平成18年度全国大会への出展・企画について
5. 平成18年度事業計画について
6. 平成17年度事業報告について

■2月教育本部会議の開催(報告)

日 時: 2月26日(日) 13:00~17:00
場 所: 東京・国立オリンピック記念青少年総合センター
出 席: 伊藤教育本部コミッショナー他17人、参席3人
承認事項: 1. 「トレーナーの休務、辞任、解任、退任および再任について」(改正案)について原案通り承認された
2. 県連盟コミッショナーの交代について原案通り承認された
協議事項: 1. 平成18年度の事業計画について
2. 平成18年度の収支予算について
3. 平成17年度の教育本部関連の事業報告について
4. スカウト運動推進委員会からの検討課題について
5. 記章・標章等検討特別委員会からの答申について

ご支援ありがとうございます

*維持会員(敬称略) スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の方々です。

2006年1月度

【北海道】	佐藤 秀樹	【福井】	高見 俊和
大谷 演慧	古瀬 洋司	【岐阜】	浩 浩
BS旭川1	【神奈川】	水野 真	
BS札幌12	山田 豊	久富 真	
BS恵庭1	(有)泰野サービス社	【静岡】	
木村 貞昭	【東京】	田中 清司	
【青森】	豎山 佳器	八木 義治	
大平 政	BS板橋2	鈴木 和雅	
【岩手】	高野 英孝	土山 義明	
BS盛岡5	伊藤 和美	南原 尚明	
【宮城】	BS練馬15	柴田 美生	
新沼 壽一	小山 正芳	高橋 謙一	
堀越 祐壽	諸越 邦男	寺田 昂	
【秋田】	中條 和紀	山本 克己	
成田 松太郎	【新潟】	榎村 賢治	
坂本 賢生	秋山 祐成		
武田 勝男	大崎 喜捷		
【福島】	新保 正	【愛知】	
加藤 洋文	与田 一憲	佐尾 重久	
【茨城】	後藤 耕一	松井 清	
青木 正志	(医)恒会新潟南病院	石原 真二	
【栃木】	(株)田村商店	澤田 清	
斉藤 幸男	中林 靖夫	加藤 隆	
BS宇都宮17	金井 勝代	【滋賀】	
栃木県BS運動維持会	佐藤 敏	森 賢	
【群馬】	富山 修一	【京都】	
江原 毅	長尾 英昭	建内 光儀	
【埼玉】	藤塚 大造	中村 三之助	
清水 増蔵	小柳 義広	入江 一男	
久川 雅大	土田 高義	【兵庫】	
稲垣 功	渡辺 誠	新谷 義明	
中島 正寛	高橋 憲男	川勝 賢一	
中山 富夫	池 良弘	沢田 政泰	
松尾 隆	西山 好英	【奈良】	
武藤 敦	黒田 玲	BS奈良19	
金重 一夫	関 昭一	村田 禎章	
岩瀬 隆央	芳賀 順一	龍本 高志	
松村 澄子	(株)丸正産業	嵯峨 英昭	
【千葉】	新潟三菱自動車販売(株)	【和歌山】	
花田 健二	(株)北村製作所	山本 一郎	
(株)新昭和	【石川】	【大阪】	
柴 千鶴子	浜本 茂樹	竹本 欣司	
(株)グロウリッチ	BS石川13	上道 小太郎	

氏原 武男	【徳島】	【宮崎】
大西 宗明	天羽クリニック	河野 充典
【鳥取】	【香川】	豊秀 昌彦
田村 幹夫	谷口 洋一	【沖縄】
【島根】	塚本 修	嘉陽田 朝吉
小川 喜多男	【愛媛】	小渡 亨
【岡山】	峯本 高義	【日本】
海老原 誠二	【福岡】	吉田 宏
平井 ビル(株)	鶴 我 直	北條 祐壽
【広島】	篠原 郁夫	関谷 勝嗣
尾崎 良雄	丸林 茂夫	向田 吉彦
ト部 朗	松尾 登	東急観光(株)
高本 恵美子	【長崎】	鬼塚 喜八郎
阿部 孝	宮川 弥太郎	柳 茂久
森本 正彦	【熊本】	B S 小牧 4
【山口】	鏡 昭二	赤松 衛司
村上 智真	【大分】	小森 隆司
池田 信幸	芳山 憲祐	高橋 清



ローカルホットライン

☐ 団
☒ 地区
☐ 都道府県連盟
☐ その他

行事報告
 活動報告
 ...etc

団・地区・都道府県連盟だより

兵庫

● 発団40周年

神戸第16団 団委員長 樋口 保之

当団は昨年発団40周年を迎え、平成17年9月11日、神戸親和女子大学学生会館講堂で記念式典を開催しました。

多数の来賓の方々、友団のスカウト・リーダー、OBの皆さんから盛大な祝福を受けました。40年間にはいろいろな苦難や感動がありましたが、この間を支えていただいた育成会員、リーダーの努力と懸命に活動したスカウトの成果の賜物だと思います。

50周年、100周年に向けて全員、意を新たにしているところです。



茨城

☑ 第2地区設立30周年記念行事

地区協議会長 竹本 俊一

茨城県連盟第2地区は水戸市を中心とした6つの市町の13この団より構成されており、昨年、設立より30年目の節目の年を迎えました。

記念行事は、現場の指導者の要望により、全員

か参加できるようにとスポーツ大会となりました。

11月6日(日)、どんよりと曇ってはいましたが、笠松運動公園の陸上競技場に約500人のスカウト、指導者、家族が集合し、12の競技にその腕と技を競いました。

どの競技も各団が責任を持って立案したためか趣向が凝らされていて、参加者・応援団が一体となることができました。スカウトたちは時には懸命に、時には笑い、時には走って楽しい時間を過ごすことができました。閉会式では、優勝した水戸第6団が表彰されました。これで第2地区のスカウトの絆が深まったと感じています。40周年、50周年いや100周年もこんな楽しい行事であろうと思います。



宮城

☑ どんと祭裸参り

泉第1団 ボーイ隊長 佐藤 典弘

泉第1団ボーイ隊は1月14日『どんと祭』に『裸参り』を実施しました。『どんと祭』とは各地呼び方は異なりますが、正月の松飾りを御神火で炊き上げる神事です。仙台市では青葉区の大崎八幡神社が有名で、例年数万人の人出と約100団体の『裸参り』が行われます。

『裸参り』は「半股引き」に「晒し」を腹に巻き、足袋を履き、腰に「注連縄」、頭に「鉢巻き」、手に「洋鈴」と団体名入りに「弓張提灯」を持ち(スカウトはペットボトルで作成)、道中無言で参拝するために「含み紙」という和紙に賽銭を包み唇でかみ

しめて、高張提灯を先頭にして神社を目指します。

泉第1団は活動拠点を泉区にしていること、区内のスカウト在籍が多いことから、泉区の『賀茂神社』で行われる『どんと祭』に『裸参り』を行うこととなりました。

ボーイ隊員22人、ベンチャー隊員(隊付)2人、リーダー2人の総勢26人が参加、小中学生による『裸参り』は珍しいため、沿道の市民の方々から盛んに声援を送られ、元気に約5kmの『裸のパトローリング』となりました。

日頃から隊長の考えは「日本の、県の、市の、地域の文化を知らずして郷土愛を育むことはできない。国際人にはなれない。」とのことから、育成会、団委員会の理解と支援をいただき、正式な装束を身につけて参加することができました。

例年小雪混じりの天候の中で行われますが、当日の天気予報は大雨。しかしスカウトたちの意気込みに雨雲も躊躇したのか天気にも恵まれました。とはいっても、気温は約5℃。風が吹くと体感気温はさらに低下します。12月のウィンターキャンプから寒気に慣れたトレーニングを重ね本番に臨んだこともあり、一人も体調を崩さずに終了することができたのが何よりです。翌日の集会ではスカウトの口々から達成感、充実感の言葉が続き、来年もまた実施しようと確認しました。隊の新たな『伝統』がまた一つスタートしたようです。



河北新報 (2006.1.15)

「裸参り」をした。泉第1地区の子もたくさん参加し、地域の伝統行事に参加し、古里への愛着を深めてくれています。おと美崎、小生から高校生までの隊員と佐藤隊長の2人の計26人が参加した。将監市民センターで、さらしめ縄を裸参り、泉東を前に着けた後、しなが湯を飲んで体を温めて出した。ペットボトルで作った「ちよん」を手に、含み紙を口でかみ、縄を噛みつけて神社への約5kmの道のりを歩いた。冬の、寒さをこらえながら歩く子どもたちを、市民「頑張つて歩いてるね」と見守った。

● 仙台第1団

1月14日、仙台第1団ベンチャー・ローパーも「どんと祭」の「裸参り」に7回目の参加をし、大崎八幡宮まで5km行進しました。



わかくさ地区 地区委員長 境 寛

[illegible]

普通旋盤作業2級

合格率

合格



船橋第14団 ベンチャー隊隊長 持木 達夫

A black and white photograph of three young people sitting on a ledge, looking out over a city. The person on the left is a man with glasses, wearing a light-colored jacket. The person in the middle is a woman with glasses, wearing a light-colored jacket. The person on the right is a woman with glasses, wearing a light-colored jacket. They are all smiling and looking towards the camera. The city below them is densely packed with buildings, and a body of water is visible in the foreground.

17

奈良

■ スカウト展の開催報告

大和郡山第1団 団委員 岡本 聡

2月4日(土)・5日(日)の両日、大和郡山市スカウト協議会(ボーイスカウト大和郡山第1団、同第2団、ガールスカウト奈良県第15団、同第24団)は、大和郡山市城ホールにてスカウト展を開催しました。

このスカウト展は、市民の方にスカウト運動への理解を深め、かつ日頃のスカウト活動を発表する場として、一昨年から開催して今年で3回目となります。

城ホールの展示室を借りきり、団紹介のコーナー、活動パネルの展示、スカウト活動の体験コーナーおよびクラフトコーナーを設置しました。クラフトコーナーでは、ぶんぶんこま等を作りました。

当日は、抜群の記憶力で「古事記」の編纂を担った稗田阿礼の出身地に因んだ記憶力大会が開催され、多くの来場者でにぎわいました。スカウト活動(見学や入団)についての問い合わせも数多くあり、組織拡充の面でも有意義なイベントとなりました。



ちょうやカブ隊のみんなとひさしぶりに会ってとてもうれしかったです。それと、10月にうさぎからしかに上ししました。妹のあいかもビーバーたいになりました。

1月7日～10日までひだかにしゃえいに行きました。1日目は、歩くスキーに行きました。2日目は、げれんでスキーに行きました。3日目帰る日でした。ひだかでは、さいしょはぜんぜんだめだったけど、と中からうまくなってきました。それにとっても楽しかった。ではお元気でさようなら。

原子京花より

追記 次のジャンボリーでは、立派なスカウトになって「朝霧で会おうね!」と励まし合っています。



茨城

■ 『変わった名前で出しました』 寒中恒例、並木フェスティバル

土浦第7団 団委員長 武内 金男

2月5日都和南小学校校庭において、第19回『並木フェスティバル』が今年も盛大に行われました。テーマは『並木町に生まれて良かった町、住んで良かった町』のふれ合い広場です。

土浦第7団も地域の皆さんに、ボーイスカウトのPRも兼ねて模擬店を出店させていただいています。今年は『ドラム缶ピザ』から品物を変えて、おいしい『食品』をと会議で話し合い、2月に間に合うよう臨時団会議を行うほど熱の入れようでした。2回目の会議では、実際に試食品を作ってみて皆で味見したら『ん!これならいける!』と合格。

材料は、ポテト(4つ切り)3ことチキン4こ(ピン

ボン玉ほど)をから揚げにしてお客様に売ることにはじめての食品ですから子どもたちも手軽に買いやすいようにと気配りました。

当日は冷たい風の吹く日でしたが良い天気で大勢の人々で賑わいました。朝8時から集まって準備に取りかかり、小柳隊長は『のほり旗』など装飾品を作ってくれて模擬店を一層引き立てました。

さて、模擬店の名前は!『ポテから7(セブン)』と名付けました。ポテト3こ+チキン4こ=7こ入り。7は土浦第7団の7で愛称がピッタリです。1カップ、200円で売りましたところ、子どもたちにも人気があり結構買い求めに来てくれました。島津副長はカブ隊と子どもたちが一緒に楽しめる遊びとして、厚紙で作った大小さまざまな『魚釣り体験』をし、釣ったら賞品の『お菓子』をもらってとてもうれしそうでした。

大川副長の自慢は『コーヒー』の味です。ボーイ隊員の宣伝マンが会場を回り、予約をもらってくるほどの人気です。ナゼ?本格派ですから。

こうして土浦第7団は、隊員から指導者まで一緒になってフェスティバルに参加し並木地区の皆さんとの交流を深めることができ、隊員増加につなげていきたいと願っております。地域のみなさんありがとうございました。



静岡

■ 北海道から嬉しい便り

富士宮第5団 団委員長 青木 尚
(京花さんが在籍時はBVS隊長でした)

一昨年、富士宮第5団でビーバー隊からカブ隊に上進する時に、お父さんのお仕事の関係から、北海道江別第2団のカブ隊に移籍しました原子京花さんからの便りです。

年賀状の返事に、たくさん書いてくれましたので紹介します。

(原文のまま)

青木隊長へ

お元気ですか?わたしは、とても元気です。今年は写真ありがとうございました。

今年(昨年)10月には、のこったひっこしの荷物をとりにふじのみやに行きました。でも、おるすだったのでお会いできませんでした。

でも赤木(元のご近所でスカウト仲間)さんからカブの活動があるよと聞いていたので、市川たい

岡山

■ 岡山県初の女子の富士章受賞スカウト

山陽新聞(2006.2.28)

真黒さん(福)「富士章」に

スカウト県内女子で初進級

岡山市のボーイスカウト岡山第四団に所属する岡山東高一年真黒樹さん(福成)が、ボーイスカウト部門(中学三年の九月から二活動、体力づくり、スポーツといった異なる分野での努力目標を三つ以上、野営や救急、炊事などの技能章を取得した。

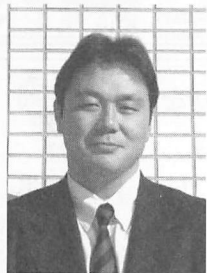


富士章の証書を受け取る真黒さん(左)

真黒さんは、小学一年からスカウト活動に継続。昨春高校に入學し、学業や部活動(吹奏楽)と並行し、下校後や休日を利用して活動を持てた。「野営などつらい活動だったが、人のかわりの大切さを学んだ。自分を高めるためにいろんなことに挑戦したい」と話す。

三月十八・十九の両日、東京で日本連盟の顕彰会がある。今年、県内の富士章進級者は真黒さんを含め二人で計二十八人になった。(池袋須賀則夫)

清宮監督おめでとう 大学ラグビー日本一!



本誌1月号に「新春メッセージ」をいただいた清宮克幸監督(大阪第107団出身)率いる早稲田大学ラグビー部が2年連続の大学日本一に。その後社会人リーグとも対戦する「日本選手権」では強豪トヨタ自動車を準々決勝で破る大金星。惜しくも準決勝で東芝府中に敗れましたが、大学チームが社会人上位チームに勝つのは18年ぶりの歴史的快挙。

5年間の早大監督任期中3回の大学日本一という成績を残し、また練習グラウンドの改革や大学チームとしては初めてのスポーツメーカーからのスポンサー確立など、スポーツ界に新風を吹き込んで注目された清宮監督は、今シーズンから社会人チームのサントリーの監督に就任されること。ますますのご活躍をお祈りします。☑

読者の「声」

～3月号の記事について～

●表紙

◇スカウトたちの楽しげな顔。シンプルですが、元気なカブたちがアピールできて良いですね。

●日本ジャンボリー選択プログラム

◇プログラムがジャンル別に区分されわかりやすい。海のパログラム、体験プログラム、班活動等が中央の写真を見て、イメージできる。能登半島のマップ上に示されているのは、分りやすい。
◇楽しそうなプログラムが事前に紹介されると、スカウトにとってジャンボリー参加の魅力を増すことになる。

●組織拡充セミナー

◇真剣に組織拡充について取り組んでいる様子が伺われますが、セミナー参加県が少ないのは少々寂しくなります。
◇政策的な方針が打ち出されていないのが残念。しかし記事から従来硬直した建前を重んじる日本連盟の態度が柔軟になっているようにも感じられる。

●アジア太平洋ジャンボリーレポート

◇団長からのこれからの課題はこれからの海外派遣に臨むリーダーにとって非常に参考になることと思います。
◇先月号カラーページに掲載されていた大会レポートに比してインパクトが弱く、タイミングを逃しているようです。

●BS 振興国会議員連盟について

◇国会議員連盟についてこのような記事を見たのは初めて。スカウト運動に国会議員のご協力をいただいているということがわかりました。
◇スカウト活動に国会議員のバックアップがあることは誠に心強い。ただ小生の経験ではスポーツ少年団の方がはるかに国・地方行政からのサポート・バックアップの優遇を受けていると感じる。

●再録ウッドクラフト

◇これを現場でどの程度隊長が指導上活用できるものなのか疑問。

☑若手指導者各位がスカウティングの原点や精神に触れる機会を、というのが掲載の趣旨です。活用という意味では難しいかもしれませんが、プログラム委員会からの発案で、今月号から「隊活動ヒント」も連載していきます。ご期待いただきますとともに、実践例の提供などご協力をお願いします。

●ローカルホットライン

◇投稿数がふえましたね。もっと活用して自県PRIに役立ててほしいものです。
◇特に、団・隊においてプログラム策定上大層参考になる記事ですね。

●ギフト・フォー・ピース研修会

◇他団体と同一テーマでの研究会は意義深い。今後も続けていってほしい。
◇参加者は研修を通じ平和活動の意味や内容がわかりますが、この記事では読者にはあまり理解できないようです。
◇若者たちが一堂に会して平和について語り合うことは感銘を覚えます。

●その他フリートーク

◇なぜ少年たちはスカウティングに参加しないのか、あるいは途中で辞めてしまうのか。活動内容にも原因はあるが、その背景として家庭や学校、社会的・経済的・環境的要因も大きいのではなかろうか。スカウト活動をさせるには入団費・育成会費・制服購入費の他各種の行事参加費・旅費などの負担があり、経済的余裕のない家庭には厳しい。それに子どもは塾・クラブ活動・稽古ごとなど時間的にも多忙である。このような環境を直視し、「スカウト活動への投資から得られる価値」が問われるのだという視点が必要なのではないかと思うのである。

皆さんの声をお寄せください。

目次頁記載の宛先まで、ハガキ、FAX、Eメールなど、お気軽にどうぞ。記事リクエストも歓迎です。掲載させていただいた方には記念品をお送りします。お気軽にご意見いただけるよう投稿者名は掲載していませんが、匿名での投稿はお受けしていません。☑

全国書店で好評発売中!

34年ぶりに蘇った伝説の書。
本書がボロボロになった頃、きみは「本当の生きる力」と「冒険の心」を身につけているはずだ!

新 冒険手帳

かざまりんぺい 著
佐原輝夫 画
定価1,000円(税込)

大災害時にも
対応できる!



火をおこし、水を探し、自然やあり合わせのものを身を守り、生き残る努力をしていくとき、冒険は始まる。かつて日常生活の中で伝えられてきた「生きていくための技術」がだれにも当たり前に身につけられる本。大災害にも対応できる。

冒険ゴコロを今こそ取り戻せ!

主婦と生活社

〒104-8357 東京都中央区京橋3-5-7
☎03(3563)5121 <http://www.shufu.co.jp>

ジャンボリーで会いましょう！

2006年夏の誌上名刺交換のご案内

スカウティング誌2006年7月号に、今夏開催します第14回日本ジャンボリーに向けて「夏の誌上名刺交換」の頁を設けます。全国のスカウト仲間へ暑中見舞いのご挨拶としてぜひご利用ください。たくさんのお申し込みをお待ちしています。

■掲載料

一口につき、5,250円(税込)

■締め切り

平成18年5月20日(土) 必着

■お申し込み方法

掲載内容(原稿)・口数・お名前・郵便番号・住所・電話番号・所属・役職をご記入の上、郵送・FAX・Eメールのいずれかで、広報グループ宛お送りください。原稿の文字組みは原則として「ヨコ書」とさせていただきます。なお、原稿には1口につき、以下のものを入れることができます。

①20字程度のメッセージ

②所属

③連絡先(住所・電話番号・メールアドレス等)

④シンボルマークなど(原画またはきれいに印刷された完全版下をご用意ください。デジタルデータの場合はご相談ください)

※オリジナルのデザインをご希望の方は、ご自身で規格サイズのデータを作成してお送りください。

■規格(単位:mm)

- ・1口.....33×62
- ・2口タテ.....66×62
- ・3口タテ.....99×62
- ・4口タテ.....132×62
- ・1段(8口タテ).....264×62
- ・2口ヨコ.....33×124
- ・3口ヨコ.....33×186
- ・6口ブロック(2×3).....66×186
- ・半頁(4×3).....132×186
- ・1頁(8×3).....264×186

※大人数でお申し込みの場合、1口あたり3～4人を目安にしてください。大人数で少ない口数をお申し込みの場合は、適当な口数をご案内させていただきます。

■送金方法

- ・ボーイスカウトカード
カード番号と有効期限をお知らせください。
00110-1-82610
財団法人ボーイスカウト日本連盟
- ・銀行振込
三菱東京UFJ銀行 吉祥寺駅前店
普通口座 5241286
財団法人ボーイスカウト日本連盟

■お申し込み・お問い合わせ先

財団法人ボーイスカウト日本連盟広報チーム
〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10
TEL 0422-31-5163 FAX 0422-31-5162
Eメール pr@scout.or.jp

ジャンボリーの成功をお祈りします
ボーイスカウト□□連盟

理事長 **大 沢 四 郎**

□□県△△市○○町4-11-10

電話0120-xx-xxxx

E-mail kenrenmei@abc.de.fg

珠洲で会いましょう!!

ボーイスカウト▽▽連盟◇◇地区◇◇第4隊

隊長	水 戸 三 郎
副長	佐 々 木 格
〃	渥 美 千 太 郎
副長補	萬 屋 娟 子
〃	疾 風 晶
隊付	斉 藤 桔 梗
上級班長	北 斗 国 光
	お お か み 班
	たいしゃくしぎ班
	う し 班
	わたりがらす班

(配置の参考としてください)

SCOUTING

スカウティング

2006年4月号

No.635

CONTENTS

- 14NJ特集「カモン! 珠洲」.....P.2~6
- 隊活動のヒント.....P.7
- 平成18年度全国大会のご案内.....P.8~9
- 活動自慢コンテスト募集要項.....P.10
- 全国ボーイスカウトゆかりの地探訪.....P.11
- 世界のスカウト人口.....P.12
- 原点をたどるシリーズ ウッドクラフトとは.....P.13
- 信仰心を育むために 式年遷宮と日本人の心.....P.14
- おしらせ・読者のページ.....P.15~19
- スカウトショップニュース.....P.21
- 平成17年度国際スカウトフォーラム 開催.....P.22~23

発行所 財団法人ボーイスカウト日本連盟
編集責任者 事務局長 金井昭二

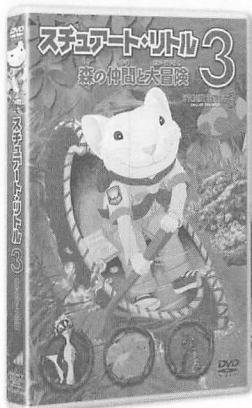
住所 〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10
TEL 0422-31-5161
FAX 0422-31-5162
URL http://www.scout.or.jp/
E-mail pr@scout.or.jp

■©財団法人ボーイスカウト日本連盟/写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟 広報チームまでご連絡ください。

■バックナンバーをご希望の場合は、日本連盟 広報チームまでご連絡ください。

■本誌は再生紙を使用しています。

■DVD紹介 『スチュアート・リトル3 森の仲間と大冒険』



劇場で大ヒットを飛ばした『スチュアート・リトル』シリーズ第3弾が、DVDとして発売されました。

今度は、リトル家の養子であるネズミのスチュアートが、「レイク・スカウト」に入りたいと言い出し、パパとジョージと一緒に入団することになって・・・。

2005年作品/カラー/約75分

¥2,940(税込)

発売・販売:(株)ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント

推薦:(財)ボーイスカウト日本連盟

<一般DVD販売店にてお求めください>



©2005 SONY PICTURES HOME ENTERTAINMENT, INC. ALL RIGHTS RESERVED.



全国大会記念品

全国大会は石川県七尾市和倉温泉で5月26日(金)から28日(日)まで開催されます。この大会を記念したワッペンを販売します。数量限定です。お早めにお求めください。また、会場の用品販売コーナーではこの他記念品もご用意いたしますので、ご来場の節はぜひお立ち寄りください。

品番-90473 **全国大会記念ワッペン**
¥350(税込)

全国大会マークの形そのままの変型刺しゅうワッペン。サイズ:7X6.5cm

14NJ記念品

ジャンボリーが開催される石川県の
ご当地シリーズ・チーフリングです。また、
ジャンボリー記念品を満載したパンフレットを5月、
スカウト用品カタログなどと一緒に団宛に
お届けする予定です。
お楽しみください。



品番-70403 チーフリング19 姫だるま
¥350(税込) サイズ:4.3X3.7cm
仕様:メタル、ラッカー仕上げ



品番-70405 チーフリング20 加賀人形
¥350(税込) サイズ:4.7X4.3cm
仕様:メタル、ラッカー仕上げ



品番-70413 チーフリング24
琴柱灯籠(ことじとうろう)
¥350(税込) サイズ:4.2X4.2cm
仕様:メタル、ラッカー仕上げ



品番-70415 チーフリング25
能登キリコ
¥350(税込)
サイズ:4.5X3.2cm
仕様:メタル、ラッカー仕上げ



品番-70419 チーフリング27
小判・日本ジャンボリー
¥350(税込)
サイズ:5X2.8cm
仕様:メタル、ラッカー仕上げ

予告 いよいよ夏のユニフォームが5月より登場!!

加盟員の皆様からご要望が多く寄せられておりました夏のユニフォームがいよいよ5月から登場です。現行ユニフォームの夏版で、着用時の外観は変わりません。蒸し暑い夏のスカウト活動には、涼しく快適な夏用ユニフォームをご利用ください。特に、8月のジャンボリーには夏用ユニフォームで参加ください!!

- 1 ベンチャースカウト以上用の男女ユニフォームです。半袖シャツ、長袖シャツ、パンツ、およびスラックス。ただし、スカートは販売しません。
- 2 価格は現行のユニフォームと同じです。品番は新しい品番になります。
- 3 素材はシャツが綿60%+ポリエステル40%の混紡、パンツは綿とポリエステルが各50%の混紡です。
シャツの繊維は3重の高次複重層で、一

番外側の層が綿のため、化学繊維アレルギーの方にも優しい肌触りになります。パンツは現行のシャツ地と同じです。もともとパンツ地として使われることの多い組成ですから、安心してお使いいただけます。

- 4 昨年夏に北海道から沖縄までの広範囲で実施した試着アンケートではシャツ、パンツ共に高い評価を得ました。

- シャツ:非常によい18%、ややよい73%、どちらでもない9%、やや悪いと非常に悪い0%
- パンツ:非常によい14%、ややよい73%、どちらでもない13%、やや悪いと非常に悪い10%

回答数63(回答率84%)



ボーイスカウトカード入会キャンペーン実施中!!

ボーイスカウト独自のポイント制度を始めたBSカード。もう、お持ちでしょうか。5月末まで入会キャンペーンとポイントダブルプレゼントを実施中です。詳しくは本誌2月号をご覧ください。か、都道府県連盟もしくは日本連盟スカウト用品BSカード係にキャンペーンポスター、カード申込用紙をご請求ください。

発送費値下げのお知らせ

4月3日よりBSカードおよび代金引換(代引)によるご購入商品の個人宛荷造り発送費を一律500円とさせていただきます。ただし、代金引換の場合は次の通り、別途代金引換手数料がかかります。

購入金額	代引手数料
¥8,000まで	¥315
¥30,000まで	¥420
¥100,000まで	¥630
¥100,001以上	¥1,050

■ご利用にあたってのお願い

- お求めは県連盟・取扱協力店まで。またボーイスカウトカードをお持ちの方は日本連盟でもお求めいただけます。
- 日本連盟へのご注文はBSカード専用の注文書がありますので、ご連絡いただければ送付いたします。日本連盟のインターネットホームページからダウンロードもできます。
http://www.scout.or.jp/j/info/download/download_etc.html
- お支払いにつきましては、ボーイスカウトカードおよび代金引換(代引)のみの取り扱いとさせていただきます。

- ファクシミリ【0422-31-5169 スカウト用品専用】でご注文をお受けいたします。
- カードは計画的にご利用ください。

- ★スカウトカタログ2005-2006等の情報はインターネットでもご覧いただけます。

URL : <http://www.scout.or.jp/j/info/supply/catalog.html>



※当カードは、オリコ・UC・VISA取扱店や、海外のVISA取扱店でもご利用になれます。

2005/2006 SAJ INTE 平成17年度国際スカウ

テーマ

新しいスカウティングの世紀、新しい始まり New Scouting Century - New Beginning

3月3日(金)～6日(月)、千葉県成田市のマロウドインターナショナルホテル成田において、「平成17年度国際スカウトフォーラム」が開催されました。このフォーラムは「平成17年度海外スカウト受入計画」と「平成17年度日米スカウト交歓計画」との合同プログラムとして開催されたもので、両計画からアジア太平洋地域諸国、アメリカ、そして日本各地よりスカウト・指導者が集い、あわせて25の国と地域175人による盛大な国際交流事業として実施されました。

3日(金) 夜に全参加者が集合すると、開会式が行われました。夕食に続く仲間づくりプログラム(Ice-breaking Programme)で翌日からの討議に向けて交流をスタートしました。

4日(土) 午前中に基調講演(講師:アメリカ連盟インテアムリカ地域スカウト委員会委員長の松本仁氏)、パネルディスカッションが行われ、午後からは小グループに分かれての分科会で本格的な討議に入りました。この日の夜には国際交流ワークショップが行われ、参加諸国相互の理解を深めあいました。

5日(日) フォーラムとしての討議は最終日。午前中はさらに分科会での討議を進め、午後からは全体会で本フォーラムの決議文をまとめていきました。

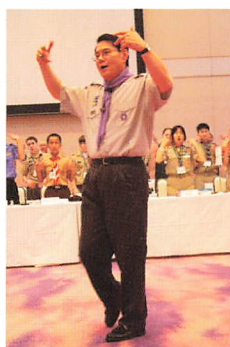
またこの夜には閉会式と歓送夕食会が行われ、参加者相互に別れを惜しみながら最後の夜を楽しく過ごしました。

6日(月) 朝食を終えてから各国派遣団がそれぞれ出発。アジア太平洋諸国は帰国の途につき、アメリカのスカウトたちは関西方面でのホームステイ、見学プログラムへと出かけていきました。

フォーラムの細かな流れ、討議内容の詳細は今後まとめられる報告書をお待ちください。討議のまとめとなった「決議文」を紹介します。



開会式で挨拶する佐波理事長



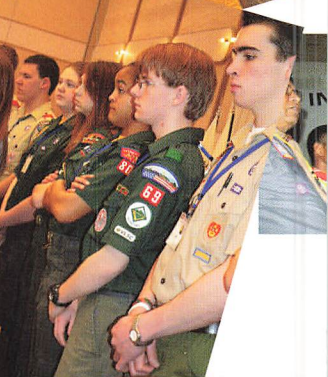
松本仁氏による楽しい基調講演



閉会式で挨拶する柳澤実行委員長



閉会式・歓送夕食会での廣瀬理事



INTERNATIONAL SCOUT FORUM

トフォーラム 開催



フォーラム決議 (和訳)

2006年3月5日
国際スカウトフォーラム

我々は日本で開催された国際スカウトフォーラムに集まった代表25の国と地域の参加者として、以下の決議を行います。

他の国々の文化的信条ならびにスカウト活動の制度について学ぶと共に、今回のフォーラムにおける交流により生涯続く友好関係を築きました。文化が異なり、制服が異なっても信じるものは同じです。スカウト活動においても、一般社会においても、異文化に対するよりよい理解を深めるために、わたしたちはここで得た経験を友人、家族、仲間のスカウトたちに伝えます。

身体の健康と衛生問題への懸念が青年スカウトたちの中で高まる一方で、たとえば自殺や摂食障害といった精神面の健康や肥満や栄養失調といった肉體面の健康はすべてこの問題の原因となっていることから、本フォーラムに参加したスカウトたちはより認識を高めることが一番の解決策だという結論に達しました。世界中のスカウトたちがこの懸念を解決するための努力として、支援とコミュニケーションの手段を提供することが将来の大きな課題です。

スカウトであるなら、地球上のすべての国々に影響を及ぼす地球温暖化、大気汚染、オゾン層の破壊といった環境問題について学ぶことが必要です。スカウトはそれぞれの地域社会に対し、模範を示すことができるように環境に配慮する必要があります。いつも自然災害は発生し、そしてその被害を受ける人々もいます。自然災害の被害を緩和するためには一定の知識と技術が必要となります。世界中のスカウトは将来のそのような状況に対し準備を進めるべきです。

それぞれの地域社会に私たちの存在と、互いに協同することで得られる利益についてより認識を高めてもらうために、どれ程スカウト運動の促進が必要かということに注目しました。

より国際的な活動を作り上げる関心を示したことで、いつの日か世界中の私たちが同じ日に同じ活動に参加できるワールドスカウティングデイを創設できることを願います。

私たちは常にスカウトであり、制服を着ていない時でもスカウトのちかいは常に自覚していることが大切です。従って、スカウト運動の良いイメージを広めるためにスカウトの「ちかい」と「おきて」をよりよく理解し、守ることが大切です。

2006年のSAJ国際スカウトフォーラムの参加者である私たちは、環境、青少年の健康、国際関係ならびに世界平和を推進、保護するために世界スカウト運動における文化多様性に対する学習と理解努力を継続することを決議とします。

スカウト運動の精神が今日そして未来にそれぞれのスカウトの心を明るく照らしますように。

参加者:25の国と地域 175人

平成17年度海外スカウト受入計画 アジア太平洋地域よりスカウト46人、指導者23人
平成17年度日米スカウト交歓計画 アメリカ各地よりスカウト32人、指導者9人
日本各地よりスカウト31人、指導者34人

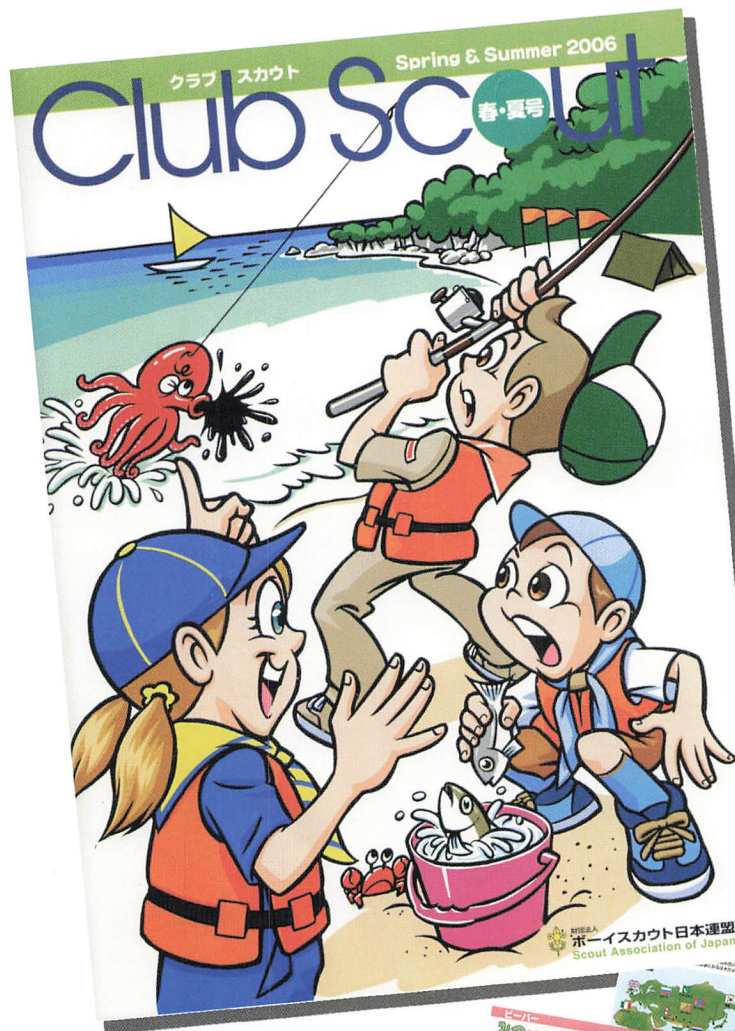
参加国:

オーストラリア
バングラデシュ
ブータン
ブルネイ
中国(台湾)
フィジー
フランス領ポリネシア
中国(香港)
インド
インドネシア
キリバス
韓国
中国(マカオ)
モルジブ
モンゴル
ネパール
ニュージーランド
パキスタン
パプア・ニューギニア
フィリピン
シンガポール
スリランカ
タイ
アメリカ
日本

フォーラムの目的

- ・25の国と地域からの参加者間の国際理解と国際友情の推進
- ・参加各国間の情報と経験の共有を通してスカウトプログラムを豊かなものにする
- ・日本の知識を深める

クラブスカウト春・夏号 お届けしています。



年2回発行のスカウティング誌別冊「クラブスカウト」。今年の春・夏号ができあがりました。この本誌4月号と同封で読者の皆さんにお届けしています。

- 今年の夏はジャンボリーだ!! :
第14回日本ジャンボリー大紹介
- ビーバースカウトのページ :
みつけて「ビンゴ」! 春の虫・夏の虫
- カブスカウトのページ :
世界の人々と友だちになろうよ
- ボーイスカウトのページ :
通信技術で荒野を行くのだ
- ベンチャースカウトのページ :
ほんの少し遠くへ 自転車で自由への第一歩

その他コミックなど、見て使って楽しい遊びのページで構成しています。
ぜひ皆さんの隊のスカウトと一緒にご覧ください。

